#### 1. めざす学校像

四條畷学園大学附属幼稚園園 長前田泉

充実した環境のもとで、のびのびと明るく元気に過ごし生活体験や活動を通して積極的にものごとに取り組む意欲と態度を身につけ、豊かな心を育み、一人ひとりの人格形成と生きる力の基礎を培います。

- 1、建学の精神「報恩感謝」教育理念「人をつくる」教育方針「個性の尊重」「明朗と自主」「実行から学べ」「礼儀と品性」を踏まえ、豊かな人格形成の基礎を育みます。
- 2、安心・安全な環境のもとで集団生活を送り、基本的な習慣を身につけるとともに、子どもが主体的に活動しようとする積極的な態度を養います。
- 3、遊びや活動を通して、自然や社会に対する関心を広げ、人との触れ合いや協力を通して、基本的信頼感や心身の調和した発達の基礎を培います。
- 4、子ども一人ひとりをよく見守り、子どもの健全な成長を促すことができるよう、その個性・特性に応じた指導を行ないます。
- 5、保護者や地域と連携・協力し、より多様な教育環境を創り出すことによって、子どもの生活体験を豊かにし、いきいきとのびやかな成長を促します。

#### 2. 中期的目標

- 1、心身の健全な成長を促し、豊かな人格形成の基礎と感謝の心を培います。
- (1)健康で明るく活発な子どもを育てます。(体の力)
- (2) 自ら考えて行動する子どもを育てます。(学ぶ力)
- (3)思いやりと優しさのある子どもに育てます。(心の力)
- 2、基本的生活習慣の形成と規範意識を高め、社会のマナーを身につけます。
- (1) 基本的な生活習慣の形成とルールを守ることやマナーを身につけます。
- (2)集団生活に必要な態度と行動を身につけます。
- 3、安全・安心な教育環境を整え、子どもの積極的で活発な活動を促します。
- (1)安全・防災教育を推進し子どもの安全を確保するとともに、危険を回避する力を身につけます。
- (2)子どもが安心して楽しく生活できる環境を整備し、興味や関心を広げます。
- (3) 自然や社会に触れて感じたり理解したりすることができる環境を整備します。
- 4、教育課程を通して積極的に取り組む行動や友達と助け合い協力する態度を身につけます。
- (1) 運動や戸外の遊びを楽しみ、意欲を高め挑戦しようとする気持ちや技能を養います。
- (2)読む・書く・数えることに興味や関心を持ち、考える力・表現する力を身につけます。
- (3)友達と一緒に喜んで活動に取り組み、努力することや力を合わせることの大切さを学びます。
- 5、子どもの個性・発達・特性に応じた指導を丁寧に行ないます。
- (1)子どもの個性の違いを踏まえて一人ひとりに応じた指導を行ないます。
- (2)子どもの成長や発達、特性の違いを踏まえてその子に応じた支援を行ないます。
- 6、保護者・地域・小学校と連携した教育活動を実施します。
- (1) 保護者と連携しながら意識を高め、充実を図り共に子どもを育てます。
- (2)地域の理解や協力を得ながら、地域と連携して豊かな教育活動(見学会・子育て相談・談話会・ 園庭開放など)を実施します。
- (3)幼稚園・保育所・小学校の交流会に参加し、情報の共有や教育課程・保育課程について理解を深めます。
- 7、教職員の研修を推進し、幼稚園運営体制の充実を図ります。
- (1) 園外・園内研修会を促進し、また、充実させ教職員の資質向上を図ります。
- (2)教職員の協力・連携を強化し、教育力の向上と教育内容の充実を図ります。

## 3. 本年度の取組内容及び自己評価 【学校全体】

【学校全体】 中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
中期的日標    1 心身の健	(1)健康で明る<活	(1)自由遊び・体	(1) 平成29年度教職	
全な成長	発な子ども・自	操・かけっこな	(リール29年度教職   員自己評価点を	
	ら考えて行動で	は	4.2とする。	
を促し、			4.20900	
豊かな人	きる子ども・思	を培い、時間の		
格形成の	いやりと優しさ	流れに応じて考		
基礎を培	が持てる子ども	えて行動できる		
います。	に育てます。	力を培い、困っ		
		ている友達に気		
		づき優しくでき		
		る力を培いま		
		す。		
2 感謝の気	(1) 感謝の気持ちが	(1)「ありがとう」	(1)平成29年度教職	
持ちを培	持てるような環	の文集作りや	員自己評価点を	
います。	境を整えます。	勤労感謝の日に	4.2とする。	
1 0.0090	元と正元のす。	は働く人に感謝	1.20900	
		の気持ちを持て		
		るようにしま		
1				
3 基本的生	  (1)基本的生活習慣	す。  (1)挨拶•衣服の着	  (1)平成29年度教職	
活習慣の	の確立を図りま	脱・食事・排泄	員自己評価点を	
形成と規	す。	を身につけま	4.2とする。	
範意識を		す。		
高めルー	(2)集団生活に必要	(2)きまりを理解し	(1)平成29年度教職	
ルを守る	な態度を培い、	ルールを守れる	員自己評価点を	
態度やマ	マナーを身につ	ようにします。	3.9とする。	
ナーを身	けます。			
につけま				
す。				
4 教育課程	(1)積極的な行動と	(1)運動や遊び又、	(1)平成29年度教職	
を通して	友達と協力でき	読む、書く、数	員自己評価点を	
積極的に	る態度を培いま	えるなどみん	4.0とする。	
取り組む	す。	なと一緒に喜		
態度や友		んで取り組み、		
達と助け		意欲を高めま		
合い協力		す。		
する態度				
を身につ				
けます。				
5 一人ひと	(1)子どもの個性・	(1)活動の場面ごと	(1)平成29年度教職	
りの子ど	発達・特性に	や、子どもの個	員自己評価点を	
もの個性	応じた丁寧な	性を理解し、見	4.1とする。	
-発達・	指導の充実を	合った丁寧な指		
特性に応	図ります。	導をします。		
一でに指導	<u>国</u> づみ9。	<del>(す</del> でしみ9。		
した指导しま				
す。				
<sup>9</sup> °				
6 子育て支	  (1)早朝預かり保	  (1)異年齢の交流で	  (1)平成29年度教職	
	(リー・新度カット)   育・預かり保育	良好な人間関	(リース29年度教職   員自己評価点を	
│ 援の充実 │ を図りま	月・預刀が休月   の充実を図りま	民分は人间関   係を育てます。	貝目C評価点を   4.2とする。	
			4.2C90°	
す。	す。	(0) 7:00 - 19:00		
	(2)安心して預けら	(2)7:00~18:30		
1	れる保育体制	まで子どもが安		
1	を整えます。	心して過ごせる		
		ようにします。		

## 3. 本年度の取組内容及び自己評価 【施設・設備】

「他設·設備」 中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
安全環備もな促す。	(1)子どもが安心して楽しく生活をし、興味や関心が高まるように環境を整えます。	(1)保育室の環境を整備し充実に努めます。 ア、保育室の教育環境で目的にあった教材を整えます。 イ、監に揃えでは、一次では、では、では、では、では、では、では、ではでいてできる。 「、食の大変をできる。」で、食の大切を知らせます。	(1) 平成29年度教職 員自己評価点を 4.0とする。	
	(2)安心な教育環境 整備の充実に努 めます。	(2)教材・遊具・用 具を利用して活 発な行動を身に つけます。又、 課外教室の充実 を図ります。	(2)平成29年度教職 員自己評価点を 4.2とする。	
	<ul><li>(3) 自然や社会に触れる環境を整えます。</li></ul>	(3) 自然・社会環境 の充実を図ります。 ア、植物や野菜の栽培 をします。 イ、飼育を通して、命 の大切さに気づかせます。 ウ、園外保育で公共の 施設を知り視野を 広げ色々な人との 触れ合いを大切に します。	(3)平成29年度教職 員自己評価点を 4.0とする。	
	(4)安全教育・防災 教育の推進に努 めます。	(4)安全教育・防災 教育を実施し、 理解を深めます。 す。 ア、登降園の安全対策 とマナー教育をします。 イ、防災・避難訓練を 実施します。 ウ、怪我の予防対策・ 感染予防に努めます。	(4)平成29年度教職 員自己評価点を 4.4とする。	

# 3. 本年度の取組内容及び自己評価 【教育・研究】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
1 教育・研究環境の 充実を推 進しま す。	(1)教育環境の整備 ・充実を図りま す。	(1)安心して楽しく 生活し、子ども の興味・関心が 高まる保育環境 を整えます。	(1)平成29年度教職 員自己評価点を 4.0とする。	
2 教育・研究基盤の整備を図	(1)教職員の資質向 上を図ります。	(1)園内・外部研修 会の推進と実施 を図ります。	(1)平成29年度教職 員自己評価点を 4.0とする。	
ります。	(2)教育力の充実を 図ります。	(2)教職員の連携と 協力の強化を図 り情報を共有し 合います。	(2)平成29年度教職 員自己評価点を 4.2とする。	
	(3)学年目標の明確 化を実施しま す。	(3)目標達成となる よう意見会を実 施します。	(3)平成29年度教職 員自己評価点を 4.3とする。	
3 研修の充 実と運営 体制の充 実に努め ます。	(1)研修会参加の充 実と向上を図り ます。	(1)目標を設定し研 鑽に努めます。	(1)平成29年度教職 員自己評価点を 4.4とする。	
4 保護者と 連携し た教育 活動を 実践	(1) 保護者の気持ち に寄り添い、連 携して子どもの 育成を図りま	(1)保育参画の推進 を充実させま す。	(1)平成29年度教職 員自己評価点を 4.2とする。	
実践します。	す。 (2)保護者の対応は 丁寧に実施しま す。	(2) 細やかに手紙や 電話で対応し、 保護者の信頼度 が高まるように 努めます。	(2)平成29年度教職 員自己評価点を 4.3とする。	

## 3. 本年度の取組内容及び自己評価 【社会貢献】\_\_\_\_\_

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
1 社会員 献、文化 活動の推 進を図り ます。	<ul><li>(1)保護者・地域住 民へ情報提供 し、教育活動の 支援と奨励に努 めます。</li></ul>	(1)楽しめる行事の 案内と推進を図 り、また、子ど もが進んででき るエコキャップ 運動を継続しま す。	(1)平成29年度教職 員自己評価点を 4.0とする。	
	ア、子どもの育ちにつ いて、公立小学校 への協力と充実に 努めます。	ア、幼保小合同連絡会 に参加し、協力 を図ります。		
2 保護者・ 地域と連 携した教 育活動を 行なう。	(1)保護者との密な 連絡と連携を図 り、豊かな教育 活動に努めま す。	(1)子育て相談・談 話会・見学会・ 園庭開放の普及 を図り、実施 します。	(1)平成29年度教職 員自己評価点を 4.0とする。	